市民によるアートプロジェクト推進事業の体系図と実績

別紙１

市民（在住・在勤・在学・在活動の場）

文化芸術に関心がない人

文化活動をしていない人

文化芸術を楽しむ人・文化活動をしている人

趣味・自己満足

生涯学習・発表願望あり

生きがい・発表・普及活動

市民アートプロジェクト：文化活動をしていない人の関心層の掘り起こしと初級人材の発掘・育成

デカスプロジェクト：マネジメント人材のステップアップ

実績

実績（2017 年度～）

○市民主体による文化イベントの開催 13 回、メンバー登録約 200 人
○文化イベントへの参加者 25,000 人
○事業費 51,796 千円
○メンバーの傾向：文化活動に関心はあるがきっかけがなかった人
自分が制作した作品を見て欲しい人
仲間や出会いを求めていた人　など

ステップアップ・好事例

○アートイベントを創り上げることで中級者に！
・看板職人 ⇒ 絵画・立体造形作品の制作
・高校生 ⇒ ライブペインティング…<写真①>
・アートファン ⇒ アート情報のライター…<写真②>
○メンバーが活躍の場を拡大中！
・メンバー40 人程がデカスプロジェクトへ応募
・あいちトリエンナーレ 2019 豊田会場の自主的なボランティアとして盛り上げ策を企画・実施　⇒　現在は市民活動団体として登録…<写真③>
・ここで出会った人材が協力し合い、官民問わず様々なイベントに出展

【参考】代表的な文化イベント

○別冊「とよたまちなか芸術祭 2020-2022 記録集」参照

実績

実績（2014 年度～）

○アートプロジェクト企画案の応募総数 224 組、採択数 118 組
○実施したアートプロジェクトへの参加者 47,000 人
○事業費 60,760 千円
○企画者の傾向：セミプロ、会社員、自営業、主婦、高齢者（退職後）など

ステップアップ・好事例

○陶芸家がアートマネジメント人材に！
自身の作品制作活動だけでなく、豊田市ゆかりの作家を集め、歴史的建造物を活用した大型展覧会を開催。企画から実施まで総合的なアートマネジメントを行った。
○巻き込まれた住民が企画者に！ …<写真④>
足助の重伝建で住民を巻き込みながらの芸術祭が行われ、その後、巻き込まれた住民らがアートの可能性を実感し、自らアートプロジェクトを企画し地域を盛り上げた。
○産業×アート！…<写真⑤・⑥>
アーティストと技術者の共働による電気自動車の開発や、AR・VR 技術を使った新たな展覧会開催など、豊田市ならではの技術（産業）×アートの企画が展開。

【参考】企画者の状況等

○別紙２「デカスプロジェクト過去採択者アンケート」参照

<写真①>

<写真②>

<写真③>

<写真④>

<写真⑤>

<写真⑥>